



2024年3月14日
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社ジェイアール東日本企画

秋葉原駅に大型サインージ×商業空間一体型の駅型ショールーミングスペース「AKIBA“CAP”」が開業

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二／以下「JR 東日本」）と株式会社ジェイアール東日本企画（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：赤石 良二／以下「jeki」）は、秋葉原駅中央改札外で開発を進めていた駅型ショールーミングスペース（名称：AKIBA“CAP”（アキバキャップ））を、2024年4月1日（月）に開業します。
- 「AKIBA“CAP”」は、『Beyond Stations 構想』に基づき、モデル駅である秋葉原駅において実現した、jekiの大型サインージとJR東日本の商業空間が一体となったグループ初の駅型ショールーミングスペースです。大型サインージのコンテンツ放映と、お客さまが商品・サービス・XRなどを体験・購入できるリアルなスペースを連動させることにより、お客さまは企業や商品の世界観をより深く体験でき、新たな発見につながる場となります。
- 「AKIBA“CAP”」第一弾の出店者に、スマートフォン向けゲームなどを手掛ける株式会社 Yostar が決定し、「Yostar OFFICIAL SHOP JR 秋葉原駅店」として、展開します。

1. AKIBA“CAP”について

上部に幅 30m の大型の湾曲サインージ（帽子＝キャップ）を冠した商業空間（顔＝フェイス）という特徴から「AKIBA“CAP”」と命名。中央改札外正面という絶好の立地で、大型サインージと商業空間を一体活用することで新しい「体感型の価値訴求」を行える秋葉原駅ならではのショールーミングスペース。

大型サインージ

商業空間



AKIBA“CAP”（Yostar OFFICIAL SHOP JR 秋葉原駅店）イメージ：中央改札外正面に位置

2. AKIBA"CAP"の概要

①使用開始日：2024年4月1日（月）

②設置場所：秋葉原駅中央改札外

③スペック：「大型サイネージ×商業空間」一体型の駅型ショールーミングスペース

・大型サイネージ：LEDディスプレイ約60㎡（H1.9m×W31.7m）

ドットピッチ 2.5mm

放映時間 5：00～24：00

音声出力あり

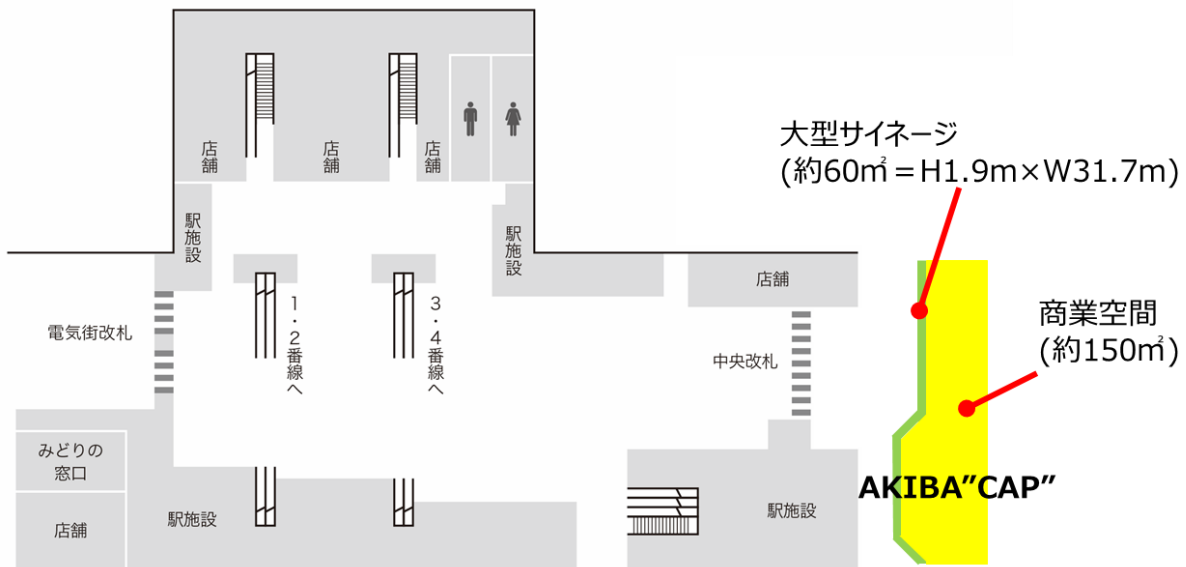
3D映像を放映可能

・商業空間：約150㎡

物販、飲食、イベントを展開可能

④ゼロカーボンメディア：年間182t-CO₂実質ゼロ

東京都のキャップ&トレード制度等を活用し、CO₂排出量（年間182t-CO₂）を実質ゼロにした「ゼロカーボンメディア」として運用。



位置図

【参考】『Beyond Stations 構想』が目指す姿

ヒトの生活における「豊かさ」を起点として、リアルな交流拠点である駅の強みを活かしながら駅空間の配置と機能を変革し、駅を「交通の拠点」から「暮らしのプラットフォーム」へと転換する構想。

秋葉原駅はモデル駅の一つとして位置付けられており、社外パートナーと共創しながら、「駅のビジネス創発拠点化」を推進し、駅の持つ可能性をさらに広げ、新たな収益確保と価値創造を実現する。

Beyond Stations 構想 「通過する」「集う」から「つながる」へ。

